

FOMA UM02-KO 取扱説明書 1.0版⇒2版 改版履歴

No.	種別	1.0版		2版		変更内容																				
		ページ	項番	ページ	項番																					
1	修正	全体	ヘッダー	全体	ヘッダー	09/06 第1.0版 → '10/03 第2版																				
2	修正	表紙		表紙		第1.0版 2009年6月 → 第2版 2010年3月																				
3	修正		本装置のご使用にあたって		本装置のご使用にあたって	なお、本書に記載している内容は2009年6月現在の情報です。 ↓ なお、本書に記載している内容は2010年3月現在の情報です。																				
4	削除		登録商標・商標について		登録商標・商標について	QUALCOMMライセンス番号削除																				
5	修正	10 11	目次	10 11	目次	ページ変動にともない修正																				
6	修正	12	1.2	12	1.2	●ソフトウェア更新機能 販売後の本装置の機能性向上を目的に、ドコモが遠隔からソフトウェア更新を行います。 本機能の詳細については、担当営業にお問い合わせください。 ↓ ●ソフトウェア更新機能 販売後の本装置の機能性向上を目的に、ドコモが遠隔からソフトウェア更新を行います。 (NW予約型ソフトウェア更新) また、ATコマンドによるソフトウェア更新もご利用いただけます。(ATコマンド型ソフトウェア更新) 本機能の詳細については、担当営業にお問い合わせください。																				
7	追記	29	2.3.5	29	2.3.5	※ソフトウェア更新の過程で再起動処理がありますので、通信速度設定端子が必要な速度設定状態 (OPEN/GND) を再起動後にも維持してください。																				
8	修正	51	4.2	51	4.2	<table border="1"> <tr> <td>+CGREG</td> <td>0</td> <td>ネットワーク登録状態を通知しない</td> </tr> <tr> <td>+CGREG</td> <td>1</td> <td>ネットワーク登録状態を通知する</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>+CGREG</td> <td>0</td> <td>圏内/圏外検出を通知しない</td> </tr> <tr> <td>+CGREG</td> <td>1</td> <td>圏内/圏外検出を通知する</td> </tr> </table>	+CGREG	0	ネットワーク登録状態を通知しない	+CGREG	1	ネットワーク登録状態を通知する	+CGREG	0	圏内/圏外検出を通知しない	+CGREG	1	圏内/圏外検出を通知する								
+CGREG	0	ネットワーク登録状態を通知しない																								
+CGREG	1	ネットワーク登録状態を通知する																								
+CGREG	0	圏内/圏外検出を通知しない																								
+CGREG	1	圏内/圏外検出を通知する																								
9	追記	51	4.2	51	4.2	<table border="1"> <tr> <td>*DSWU</td> <td>0</td> <td>ソフトウェア更新を開始する</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>*DSWU</td> <td>1</td> <td>ソフトウェア更新を停止する</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>72</td> </tr> </table>	*DSWU	0	ソフトウェア更新を開始する	-	-	72	*DSWU	1	ソフトウェア更新を停止する	-	-	72								
*DSWU	0	ソフトウェア更新を開始する	-	-	72																					
*DSWU	1	ソフトウェア更新を停止する	-	-	72																					
10	修正	65	4.3 (6)	65	4.3 (6)	<table border="1"> <tr> <td>コマンド</td> <td>AT+CGREG</td> </tr> <tr> <td>機能</td> <td>ネットワーク登録状態の通知設定</td> </tr> <tr> <td>解説</td> <td>ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します</td> </tr> <tr> <td>書式</td> <td>AT+CGREG=<n>[<n>] n: 0 通知なし(初期値) 1 通知あり AT+CGREG?<n> 現在の状態を問い合わせます AT+CGREG=?<n> サポートする<n>のリスト表示を行います</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>AT&W コマンドで不揮発性メモリに記憶されます</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>コマンド</td> <td>AT+CGREG</td> </tr> <tr> <td>機能</td> <td>圏内/圏外検出の通知設定</td> </tr> <tr> <td>解説</td> <td>圏内/圏外検出を通知するかどうかを設定します</td> </tr> <tr> <td>書式</td> <td>AT+CGREG=<n>[<n>] n: 0 通知なし(初期値) 1 通知あり AT+CGREG?<n> 現在の状態を問い合わせます AT+CGREG=?<n> サポートする<n>のリスト表示を行います</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>AT&W コマンドで不揮発性メモリに記憶されます</td> </tr> </table>	コマンド	AT+CGREG	機能	ネットワーク登録状態の通知設定	解説	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します	書式	AT+CGREG=<n>[<n>] n: 0 通知なし(初期値) 1 通知あり AT+CGREG?<n> 現在の状態を問い合わせます AT+CGREG=?<n> サポートする<n>のリスト表示を行います	備考	AT&W コマンドで不揮発性メモリに記憶されます	コマンド	AT+CGREG	機能	圏内/圏外検出の通知設定	解説	圏内/圏外検出を通知するかどうかを設定します	書式	AT+CGREG=<n>[<n>] n: 0 通知なし(初期値) 1 通知あり AT+CGREG?<n> 現在の状態を問い合わせます AT+CGREG=?<n> サポートする<n>のリスト表示を行います	備考	AT&W コマンドで不揮発性メモリに記憶されます
コマンド	AT+CGREG																									
機能	ネットワーク登録状態の通知設定																									
解説	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します																									
書式	AT+CGREG=<n>[<n>] n: 0 通知なし(初期値) 1 通知あり AT+CGREG?<n> 現在の状態を問い合わせます AT+CGREG=?<n> サポートする<n>のリスト表示を行います																									
備考	AT&W コマンドで不揮発性メモリに記憶されます																									
コマンド	AT+CGREG																									
機能	圏内/圏外検出の通知設定																									
解説	圏内/圏外検出を通知するかどうかを設定します																									
書式	AT+CGREG=<n>[<n>] n: 0 通知なし(初期値) 1 通知あり AT+CGREG?<n> 現在の状態を問い合わせます AT+CGREG=?<n> サポートする<n>のリスト表示を行います																									
備考	AT&W コマンドで不揮発性メモリに記憶されます																									
11	修正	72	4.3 (6)	72	4.3 (6)	<table border="1"> <tr> <td>書式</td> <td>AT+DRPW=<n> 電波の受信電力指標を表示 AT+DRPW=?<n> 表示可能な範囲表示</td> <td>*DRPW:<n> OK n: 0~75 *DRPW(range of supported <n>) OK</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2">以下の場合において、本コマンドを実行するリセットコードの数字(0~75)が表示されないことがあります ① 電源 ON 直後やリセット直後 ② 電源 ON 時やリセット時で、圏外もしくは待機状態の場合 その場合は、しばらく待機を繰り返して、圏内/圏外非に復帰してから再度実行してください。</td> </tr> </table>	書式	AT+DRPW=<n> 電波の受信電力指標を表示 AT+DRPW=?<n> 表示可能な範囲表示	*DRPW:<n> OK n: 0~75 *DRPW(range of supported <n>) OK	備考	以下の場合において、本コマンドを実行するリセットコードの数字(0~75)が表示されないことがあります ① 電源 ON 直後やリセット直後 ② 電源 ON 時やリセット時で、圏外もしくは待機状態の場合 その場合は、しばらく待機を繰り返して、圏内/圏外非に復帰してから再度実行してください。															
書式	AT+DRPW=<n> 電波の受信電力指標を表示 AT+DRPW=?<n> 表示可能な範囲表示	*DRPW:<n> OK n: 0~75 *DRPW(range of supported <n>) OK																								
備考	以下の場合において、本コマンドを実行するリセットコードの数字(0~75)が表示されないことがあります ① 電源 ON 直後やリセット直後 ② 電源 ON 時やリセット時で、圏外もしくは待機状態の場合 その場合は、しばらく待機を繰り返して、圏内/圏外非に復帰してから再度実行してください。																									
12	追記	72	4.3 (6)	72	4.3 (6)	<table border="1"> <tr> <td>コマンド</td> <td>AT+DSWU</td> </tr> <tr> <td>機能</td> <td>ソフトウェア更新の開始/停止</td> </tr> <tr> <td>解説</td> <td>外部装置からの AT コマンドによりソフトウェア更新の開始および停止を行います</td> </tr> <tr> <td>書式</td> <td>AT+DSWU=<n>[<n>] n: 0 ソフトウェア更新を開始する 1 ソフトウェア更新を停止する AT+DSWU=?<n> サポートする<n>のリスト表示を行います ソフトウェア更新中以外 AT+DSWU=?<n> OK ERROR</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2">ソフトウェア更新時(再起動中、書換え中、更新完了通知送信中)は、ソフトウェア更新を停止できません ソフトウェア更新時(書換え中)に AT+DSWU=1 を入力した場合の結果コードは、SW 更新モードにより異なります ネットワークからのソフトウェア更新および AT コマンドによるソフトウェア更新のどちらの場合でも、AT+DSWU=1 によりソフトウェア更新を停止することができます ソフトウェア更新時の結果コードについては、「4.4(3) ソフトウェア更新時の結果コード」(P.76)を参照し てください ソフトウェア更新機能のお申し込みを行っていない場合、ソフトウェア更新の開始を実行しないでください</td> </tr> </table>	コマンド	AT+DSWU	機能	ソフトウェア更新の開始/停止	解説	外部装置からの AT コマンドによりソフトウェア更新の開始および停止を行います	書式	AT+DSWU=<n>[<n>] n: 0 ソフトウェア更新を開始する 1 ソフトウェア更新を停止する AT+DSWU=?<n> サポートする<n>のリスト表示を行います ソフトウェア更新中以外 AT+DSWU=?<n> OK ERROR	備考	ソフトウェア更新時(再起動中、書換え中、更新完了通知送信中)は、ソフトウェア更新を停止できません ソフトウェア更新時(書換え中)に AT+DSWU=1 を入力した場合の結果コードは、SW 更新モードにより異なります ネットワークからのソフトウェア更新および AT コマンドによるソフトウェア更新のどちらの場合でも、AT+DSWU=1 によりソフトウェア更新を停止することができます ソフトウェア更新時の結果コードについては、「4.4(3) ソフトウェア更新時の結果コード」(P.76)を参照し てください ソフトウェア更新機能のお申し込みを行っていない場合、ソフトウェア更新の開始を実行しないでください										
コマンド	AT+DSWU																									
機能	ソフトウェア更新の開始/停止																									
解説	外部装置からの AT コマンドによりソフトウェア更新の開始および停止を行います																									
書式	AT+DSWU=<n>[<n>] n: 0 ソフトウェア更新を開始する 1 ソフトウェア更新を停止する AT+DSWU=?<n> サポートする<n>のリスト表示を行います ソフトウェア更新中以外 AT+DSWU=?<n> OK ERROR																									
備考	ソフトウェア更新時(再起動中、書換え中、更新完了通知送信中)は、ソフトウェア更新を停止できません ソフトウェア更新時(書換え中)に AT+DSWU=1 を入力した場合の結果コードは、SW 更新モードにより異なります ネットワークからのソフトウェア更新および AT コマンドによるソフトウェア更新のどちらの場合でも、AT+DSWU=1 によりソフトウェア更新を停止することができます ソフトウェア更新時の結果コードについては、「4.4(3) ソフトウェア更新時の結果コード」(P.76)を参照し てください ソフトウェア更新機能のお申し込みを行っていない場合、ソフトウェア更新の開始を実行しないでください																									
13	修正	95	5.1 (17)	95	5.1 (17)	(17) ソフトウェア更新時 (SW更新モード1) ↓ (17) ネットワークからのソフトウェア更新時 (SW更新モード1)																				
14	修正	96	5.1 (18)	96	5.1 (18)	(18) ソフトウェア更新時 (SW更新モード2) ↓ (18) ネットワークからのソフトウェア更新時 (SW更新モード2)																				
15	追記	-	-	97	5.1 (19)	(19) ATコマンドによるソフトウェア更新時 (SW更新モード1) を記載																				
16	追記	-	-	98	5.1 (20)	(20) ATコマンドによるソフトウェア更新時 (SW更新モード2) を記載																				
17	追記	-	-	99	5.1 (21)	(21) ソフトウェア更新の中断時 (AT*DSWU=1) を記載																				

18	修正	113	6.1	116	6.1	販売後の本装置の機能性向上を目的にFOMAネットワーク経由でドコモが遠隔からソフトウェアを更新する機能です。 ↓ 販売後の本装置の機能性向上を目的にFOMAネットワークを利用してソフトウェアを更新する機能です。 ソフトウェア更新を実施する方法として以下の2種類の方法があります。 ネットワークからのソフトウェア更新（以降、NW予約型ソフトウェア更新） NW予約型ソフトウェア更新は、ドコモに更新日時をご予約いただき、ソフトウェア更新の開始指示がFOMA ネットワーク経由で本装置に到達することにより開始されます。 ATコマンドによるソフトウェア更新（以降、ATコマンド型ソフトウェア更新） ATコマンド型ソフトウェア更新は、外部装置からATコマンド「AT*DSWU=0」（P.72）を実行することにより 開始されます。
19	修正	113	6.1	117	6.1	【ソフトウェア更新時の状態遷移図】 ↓ 【NW予約型ソフトウェア更新時の状態遷移図】
20	追記	—	6.1	118	6.1	【ATコマンド型ソフトウェア更新時の状態遷移図】を挿入
21	追記	115	6.3	120	6.3	※ソフトウェア更新の過程で再起動処理がありますので、通信速度設定端子が必要な速度設定状態 （OPEN/GND）を再起動後にも維持してください。通信速度設定方法については、「2.3.5.外部装置シリアル通信 速度設定方法（DTE1～3）」（P.29）を参照してください。
22	修正	115	6.3	120	6.3	信号線状態については、 「5.1.外部装置インタフェース（17）ソフトウェア更新時（SW更新モード1）」（P.95） 「5.1.外部装置インタフェース（18）ソフトウェア更新時（SW更新モード2）」（P.96） を参照してください。 ↓ 信号線状態については、 「5.1.外部装置インタフェース（17）ネットワークからのソフトウェア更新時（SW更新モード1）」（P.95） 「5.1.外部装置インタフェース（18）ネットワークからのソフトウェア更新時（SW更新モード2）」（P.96） 「5.1.外部装置インタフェース（19）ATコマンドによるソフトウェア更新時（SW更新モード1）」（P.97） 「5.1.外部装置インタフェース（20）ATコマンドによるソフトウェア更新時（SW更新モード2）」（P.98） 「5.1.外部装置インタフェース（21）ソフトウェア更新の中断時（AT*DSWU=1）」（P.99） を参照してください。
23	追記	—		121 122	6.7	6.7. ソフトウェア更新時の状態・更新モードによる各種動作の差異 を記載
24	修正	123 124	索引	129 130	索引	ページ変動にともない修正
25	修正	巻末		巻末		09.06（第1.0版） → 10.03（第2版）

FOMA UM02-K0専用アダプタセット 取扱説明書 2版⇒3版 改版履歴

No.	種別	2版		3版		変更内容
		ページ	項番	ページ	項番	
1	アダプタ	全体	ヘッダー	全体	ヘッダー	'10/03 第2版 → '11/07 第3版
2	アダプタ	表紙		表紙		第2版 2010年3月 → 第3版 2011年7月
3	アダプタ	21	2.6.1	21	2.6.1	<p>3芯仕様：本装置側のコネクタ 53108-0330（日本モレックス(株)） 電源コード側のコネクタハウジング 51030-0330（日本モレックス(株)） 電源コード側のコネクタピン 50083（日本モレックス(株)）</p> <p>↓</p> <p>3芯仕様：本装置側のコネクタ 53108-0330（日本モレックス(株)）または 70553-0002（日本モレックス(株)） 電源コード側のコネクタハウジング 51030-0330（日本モレックス(株)）または 70066-0177（日本モレックス(株)） 電源コード側のコネクタピン 50083（日本モレックス(株)）または 70058（日本モレックス(株)）</p>
4	アダプタ	21	2.6.1	21	2.6.1	<p>※コネクタに関する詳細は下記の販売代理店にお問い合わせください。</p> <p>◇お問い合わせ先 PTT株式会社 TEL (03) 5333-2301 FAX (03) 5333-2382 http://www.pttco.co.jp/</p> <p>↓</p> <p>※コネクタに関する詳細は日本モレックス(株) WEBサイト (http://www.molex.co.jp) 掲載の販売代理店にお 問い合わせください。</p>
5	アダプタ	24	2.9	24	2.9	<p>5芯仕様：本装置側のコネクタ 53108-0530（日本モレックス(株)） コード側のコネクタハウジング 51030-0530（日本モレックス(株)） コード側のコネクタピン 50083（日本モレックス(株)）</p> <p>↓</p> <p>5芯仕様：本装置側のコネクタ 53108-0530（日本モレックス(株)）または 70553-0004（日本モレックス(株)） コード側のコネクタハウジング 51030-0530（日本モレックス(株)）または 70066-0179（日本モレックス(株)） コード側のコネクタピン 50083（日本モレックス(株)）または 70058（日本モレックス(株)）</p>
6	修正	巻末		巻末		10.03（第2版） → '11.07（第3版）

FOMA UM02-KO DoPaエミュレート機能 1.0版⇒2版 改版履歴

No.	種別	1.0版		2版		変更内容																																				
		ページ	項番	ページ	項番																																					
1	修正	全体	ヘッダー	全体	ヘッダー	'09/06 第1.0版 → '10/03 第2版																																				
2	修正	表紙		表紙		第1.0版 2009年6月 → 第2版 2010年3月																																				
3	削除		登録商標・商標について		登録商標・商標について	QUALCOMMライセンス番号削除																																				
4	修正	2	1	2	1	※本書に記載している内容は2009年6月現在の情報です。 ↓ ※本書に記載している内容は2010年3月現在の情報です。																																				
5	追記	6	3.2.1	6	3.2.1	<table border="1"> <tr> <td>*DSWU</td> <td>0</td> <td>ソフトウェア更新を開始する</td> <td></td> <td></td> <td>28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>ソフトウェア更新を停止する</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	*DSWU	0	ソフトウェア更新を開始する			28		1	ソフトウェア更新を停止する																											
*DSWU	0	ソフトウェア更新を開始する			28																																					
	1	ソフトウェア更新を停止する																																								
6	追記	9	3.2.2	9	3.2.2	<table border="1"> <tr> <td>*DSWU</td> <td>0</td> <td>ソフトウェア更新を開始する</td> <td></td> <td></td> <td>28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>ソフトウェア更新を停止する</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	*DSWU	0	ソフトウェア更新を開始する			28		1	ソフトウェア更新を停止する																											
*DSWU	0	ソフトウェア更新を開始する			28																																					
	1	ソフトウェア更新を停止する																																								
7	追記	12	3.2.3	12	3.2.3	<table border="1"> <tr> <td>*DSWU</td> <td>0</td> <td>ソフトウェア更新を開始する</td> <td></td> <td></td> <td>28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>ソフトウェア更新を停止する</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	*DSWU	0	ソフトウェア更新を開始する			28		1	ソフトウェア更新を停止する																											
*DSWU	0	ソフトウェア更新を開始する			28																																					
	1	ソフトウェア更新を停止する																																								
8	追記	15	3.2.4	15	3.2.4	<table border="1"> <tr> <td>*DSWU</td> <td>0</td> <td>ソフトウェア更新を開始する</td> <td></td> <td></td> <td>28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>ソフトウェア更新を停止する</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	*DSWU	0	ソフトウェア更新を開始する			28		1	ソフトウェア更新を停止する																											
*DSWU	0	ソフトウェア更新を開始する			28																																					
	1	ソフトウェア更新を停止する																																								
9	修正	28	3.3	28	3.3	<table border="1"> <tr> <td>書式</td> <td>AT+DRPW [n]</td> <td>*DRPW<n></td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の受信電力指標を表示</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>n: 0~75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>AT+DRPW=[n]</td> <td>*DRPW(range of supported <n>)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表示可能な範囲表示</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1"> <tr> <td>書式</td> <td>AT+DRPW [n]</td> <td>*DRPW<n></td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の受信電力指標を表示</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>n: 0~75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>AT+DRPW=[n]</td> <td>*DRPW(range of supported <n>)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表示可能な範囲表示</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2">以下の条件において、本コマンドを実行するとリザルトコードの数字(0~75)が表示されないことがあります ① 電源 ON 直後やリセット直後 ② 電源 ON 時やリセット時で、機内もしくは弱電界の場合 その場合は、しばらく時間を置いた後、機内・強電界に復帰してから再度実行してください。</td> </tr> </table>	書式	AT+DRPW [n]	*DRPW<n>		電源の受信電力指標を表示	OK			n: 0~75		AT+DRPW=[n]	*DRPW(range of supported <n>)		表示可能な範囲表示	OK	備考			書式	AT+DRPW [n]	*DRPW<n>		電源の受信電力指標を表示	OK			n: 0~75		AT+DRPW=[n]	*DRPW(range of supported <n>)		表示可能な範囲表示	OK	備考	以下の条件において、本コマンドを実行するとリザルトコードの数字(0~75)が表示されないことがあります ① 電源 ON 直後やリセット直後 ② 電源 ON 時やリセット時で、機内もしくは弱電界の場合 その場合は、しばらく時間を置いた後、機内・強電界に復帰してから再度実行してください。	
書式	AT+DRPW [n]	*DRPW<n>																																								
	電源の受信電力指標を表示	OK																																								
		n: 0~75																																								
	AT+DRPW=[n]	*DRPW(range of supported <n>)																																								
	表示可能な範囲表示	OK																																								
備考																																										
書式	AT+DRPW [n]	*DRPW<n>																																								
	電源の受信電力指標を表示	OK																																								
		n: 0~75																																								
	AT+DRPW=[n]	*DRPW(range of supported <n>)																																								
	表示可能な範囲表示	OK																																								
備考	以下の条件において、本コマンドを実行するとリザルトコードの数字(0~75)が表示されないことがあります ① 電源 ON 直後やリセット直後 ② 電源 ON 時やリセット時で、機内もしくは弱電界の場合 その場合は、しばらく時間を置いた後、機内・強電界に復帰してから再度実行してください。																																									
10	追記	28	3.3	28	3.3	<table border="1"> <tr> <td>コマンド</td> <td>AT+DSWU</td> </tr> <tr> <td>機能</td> <td>ソフトウェア更新の開始/停止</td> </tr> <tr> <td>解説</td> <td>外部装置からのATコマンドによりソフトウェア更新の開始および停止を行います</td> </tr> <tr> <td>書式</td> <td>AT+DSWU=[n]<n></td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td></td> <td>n:</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0 ソフトウェア更新を開始する</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1 ソフトウェア更新を停止する</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>AT+DSWU=[n]</td> <td>*DSWU(0,1)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サポートする<n>のリスト表示を行います</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソフトウェア更新中以外</td> <td>ERROR</td> </tr> <tr> <td></td> <td>AT+DSWU=1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2">ソフトウェア更新時(再起動中、書換え中、更新完了通知送信中)は、ソフトウェア更新を停止できません ソフトウェア更新時(書換え中)にAT+DSWU=1を入力した場合のリザルトコードは、SW更新モードにより異なります ネットワークからのソフトウェア更新およびATコマンドによるソフトウェア更新のどちらの場合でも、AT+DSWU=1によりソフトウェア更新を停止することができます ソフトウェア更新時のリザルトコードについては、「4.2. ソフトウェア更新時のリザルトコード」(P.41)を参照してください ソフトウェア更新機能のお申し込みを行っていない場合、ソフトウェア更新の開始を実行しないでください</td> </tr> </table>	コマンド	AT+DSWU	機能	ソフトウェア更新の開始/停止	解説	外部装置からのATコマンドによりソフトウェア更新の開始および停止を行います	書式	AT+DSWU=[n]<n>	OK		n:			0 ソフトウェア更新を開始する			1 ソフトウェア更新を停止する			AT+DSWU=[n]	*DSWU(0,1)		サポートする<n>のリスト表示を行います	OK		ソフトウェア更新中以外	ERROR		AT+DSWU=1		備考	ソフトウェア更新時(再起動中、書換え中、更新完了通知送信中)は、ソフトウェア更新を停止できません ソフトウェア更新時(書換え中)にAT+DSWU=1を入力した場合のリザルトコードは、SW更新モードにより異なります ネットワークからのソフトウェア更新およびATコマンドによるソフトウェア更新のどちらの場合でも、AT+DSWU=1によりソフトウェア更新を停止することができます ソフトウェア更新時のリザルトコードについては、「4.2. ソフトウェア更新時のリザルトコード」(P.41)を参照してください ソフトウェア更新機能のお申し込みを行っていない場合、ソフトウェア更新の開始を実行しないでください				
コマンド	AT+DSWU																																									
機能	ソフトウェア更新の開始/停止																																									
解説	外部装置からのATコマンドによりソフトウェア更新の開始および停止を行います																																									
書式	AT+DSWU=[n]<n>	OK																																								
	n:																																									
	0 ソフトウェア更新を開始する																																									
	1 ソフトウェア更新を停止する																																									
	AT+DSWU=[n]	*DSWU(0,1)																																								
	サポートする<n>のリスト表示を行います	OK																																								
	ソフトウェア更新中以外	ERROR																																								
	AT+DSWU=1																																									
備考	ソフトウェア更新時(再起動中、書換え中、更新完了通知送信中)は、ソフトウェア更新を停止できません ソフトウェア更新時(書換え中)にAT+DSWU=1を入力した場合のリザルトコードは、SW更新モードにより異なります ネットワークからのソフトウェア更新およびATコマンドによるソフトウェア更新のどちらの場合でも、AT+DSWU=1によりソフトウェア更新を停止することができます ソフトウェア更新時のリザルトコードについては、「4.2. ソフトウェア更新時のリザルトコード」(P.41)を参照してください ソフトウェア更新機能のお申し込みを行っていない場合、ソフトウェア更新の開始を実行しないでください																																									
11	修正	巻末		巻末		'09.06 (第1.0版) → '10.03 (第2版)																																				

FOMA UM02-F 取扱説明書 4版 ⇒ 5版 改版履歴

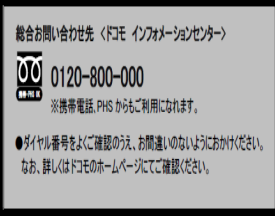
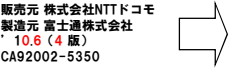
No.	種別	4版		5版		変更内容
		ページ	項番	ページ	項番	
1	修正	全体		全体		FOMAカード → ドコモUIMカード
2	削除	H1		H1		製造番号
3	修正	1	本装置のご使用にあたって	1	本装置のご使用にあたって	最新版は、ユビキタスマジュールWeb サイト UM テクニカルサポートにてご確認ください。 http://www.docomo.biz/module/support/ ↓ 最新版は、ドコモの法人向けサイト「ドコモビジネスオンライン」にてご確認ください。 http://www.docomo.biz/html/service/module/
4	削除	2	登録商標・商標について			● Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です（Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です）。
5	削除	2	Windows の表記について			Windows の表記について
6	削除	2	Windows の表記について			● Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
7	修正	3	安全上のご注意（必ずお守りください）	3	安全上のご注意（必ずお守りください）	● ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 ↓ ● ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
8	修正	3	安全上のご注意（必ずお守りください）	3	安全上のご注意（必ずお守りください）	この表示は、取り扱いを誤った場合、「障害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。 ↓ この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。
9	修正	4	本装置の取り扱いについて	4	本装置の取り扱いについて	火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。 ↓ 高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
10	修正	4	本装置の取り扱いについて	4	本装置の取り扱いについて	強い衝撃を与えたり、落下させたり、投げ付けたりしないでください。 ↓ 強い力や衝撃を与えたり、落下させたり、投げ付けたりしないでください。
11	修正	5	本装置の取り扱いについて（つづき）	5	本装置の取り扱いについて（つづき）	航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本装置の電源を切ってください。 ↓ 航空機へのご搭乗にあたり、本装置の電源を切ってください。
12	追記			5	本装置の取り扱いについて（つづき）	航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
13	修正	5	本装置の取り扱いについて（つづき）	5	本装置の取り扱いについて（つづき）	電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。 ↓ 航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
14	削除	5	本装置の取り扱いについて（つづき）			医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
15	修正	5	本装置の取り扱いについて（つづき）	5	本装置の取り扱いについて（つづき）	また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。 ↓ なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
16	追記			5	本装置の取り扱いについて（つづき）	図：指示
17	追記			5	本装置の取り扱いについて（つづき）	病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
18	追記			5	本装置の取り扱いについて（つづき）	使用を禁止されている場所では、本装置の電源を切ってください。
19	追記			5	本装置の取り扱いについて（つづき）	電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
20	修正	5	本装置の取り扱いについて（つづき）	5	本装置の取り扱いについて（つづき）	電子機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。 ↓ 電子機器が誤作動するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
21	修正	5	本装置の取り扱いについて（つづき）	5	本装置の取り扱いについて（つづき）	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除動器、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。 ↓ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除動器、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
22	修正	5	本装置の取り扱いについて（つづき）	5	本装置の取り扱いについて（つづき）	誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。 ↓ 誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。
23	追記			5	本装置の取り扱いについて（つづき）	 指示

24	追記			5	本装置の取り扱いについて（つづき）	医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。 医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。																															
25	修正	6	本装置の取り扱いについて（つづき）	6	本装置の取り扱いについて（つづき）	発火、環境破壊の原因になることがあります。不要となった本装置は、当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。 ↓ 発火、環境破壊の原因となります。不要となった本装置は、担当営業（販売元）にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。																															
26	修正	6	本装置の取り扱いについて（つづき）	6	本装置の取り扱いについて（つづき）	環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。 ↓ 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードは担当営業（販売元）にお持ちください。																															
27	修正	6	本装置の取り扱いについて（つづき）	6	本装置の取り扱いについて（つづき）	自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。 ↓ 自動車内で使用する場合は、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。																															
28	修正	6	本装置の取り扱いについて（つづき）	6	本装置の取り扱いについて（つづき）	安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。 ↓ 車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。																															
29	修正	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	本記載の内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準拠したものです。 本記載の内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準拠する。																															
30	修正	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本装置の外部アンテナを22cm以上離して携行および使用してください。 ↓ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本装置の外部アンテナを15cm以上離して携行および使用してください。																															
31	修正	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。 ↓ 電波により医用電気機器の動作に悪影響を及ぼす原因となります。																															
32	修正	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	清算電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本装置を使用しないでください。 ↓ 身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。																															
33	修正	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。 ↓ 付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の動作に悪影響を及ぼす原因となります。																															
34	修正	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。 ↓ 医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。																															
35	削除	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて			・手術室、集中治療室（ICU）、冠動脈疾患監視病室（CCU）には本装置を持ち込まないでください。 ・病室内では、本装置を使用しないでください。 ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本装置を使用しないでください。 ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。																															
36	修正	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。																															
37	修正	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	7	医用電気機器近くでの取り扱いについて	電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。 ↓ 電波により医用電気機器の動作に悪影響を及ぼす原因となります。																															
38	追記			8	材質一覧	材質一覧																															
39	追記			8	材質一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">材質一覧</th> <th>材質/表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">外装ケース</td> <td>シールドケース上</td> <td>黄銅/ニッケルメッキ</td> </tr> <tr> <td>シールドケース下</td> <td>黄銅/ニッケルメッキ</td> </tr> <tr> <td>銘板</td> <td>PET</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">57 芯コネクタ</td> <td>カバー</td> <td>LCP</td> </tr> <tr> <td>コンタクト</td> <td>銅合金/金メッキ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">アンテナコネクタ</td> <td>コンタクト 1</td> <td>銅合金/金メッキ</td> </tr> <tr> <td>コンタクト 2</td> <td>黄銅/銀メッキ</td> </tr> <tr> <td>ハウジング</td> <td>LCP</td> </tr> <tr> <td>水濡れシール</td> <td></td> <td>PET</td> </tr> <tr> <td>基板</td> <td></td> <td>銅合金/金メッキ</td> </tr> <tr> <td>半田</td> <td></td> <td>スズ・銀・銅</td> </tr> </tbody> </table>	材質一覧		材質/表面処理	外装ケース	シールドケース上	黄銅/ニッケルメッキ	シールドケース下	黄銅/ニッケルメッキ	銘板	PET	57 芯コネクタ	カバー	LCP	コンタクト	銅合金/金メッキ	アンテナコネクタ	コンタクト 1	銅合金/金メッキ	コンタクト 2	黄銅/銀メッキ	ハウジング	LCP	水濡れシール		PET	基板		銅合金/金メッキ	半田		スズ・銀・銅
材質一覧		材質/表面処理																																			
外装ケース	シールドケース上	黄銅/ニッケルメッキ																																			
	シールドケース下	黄銅/ニッケルメッキ																																			
	銘板	PET																																			
57 芯コネクタ	カバー	LCP																																			
	コンタクト	銅合金/金メッキ																																			
アンテナコネクタ	コンタクト 1	銅合金/金メッキ																																			
	コンタクト 2	黄銅/銀メッキ																																			
	ハウジング	LCP																																			
水濡れシール		PET																																			
基板		銅合金/金メッキ																																			
半田		スズ・銀・銅																																			
40	修正	8	取扱上のお願	9	取扱上のお願	本装置は防水仕様になっておりません。 ↓ 本装置は防水性能を有しておりません。																															
41	修正	8	取扱上のお願	9	取扱上のお願	風呂場など、湿気が多い場所でのご使用や、雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。 ↓ 風呂場などの湿気が多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。																															
42	修正	8	取扱上のお願	9	取扱上のお願	また、身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。 ↓ また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。																															
43	修正	8	取扱上のお願	9	取扱上のお願	調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 ↓ 調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。																															
44	修正	8	取扱上のお願	9	取扱上のお願	なお、修理を実施できる場合でも有料修理となります。 ↓ なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。																															

45	修正	8	取扱上のお願	9	取扱上のお願	本装置に無理な力がかかるような場所に置かないでください。 ↓ 本装置に無理な力がかからないように使用してください。
46	修正	8	取扱上のお願	9	取扱上のお願	多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、故障の原因となり、保証の対象外となります。 ↓ 多くの物が詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、故障の原因となり、保証の対象外となります。
47	修正	8	取扱上のお願	9	取扱上のお願	温度は-20℃~60℃、湿度は25%~85%の範囲でご使用ください。さらに、本装置の動作環境温度については制約事項がありますので、ご注意ください(→P.41)。 ↓ 温度は-20℃~60℃、湿度は25%~85%の範囲でご使用ください。さらに、本装置の動作環境温度については制約事項がありますので、ご注意ください(→P.41)。
48	修正	8	取扱上のお願	9	取扱上のお願	使用中、本装置が温かくなる場合がありますが、異常ではありません。 ↓ 使用中、本装置が温かくなりますが、異常ではありません。
49	修正	8	取扱上のお願	9	取扱上のお願	一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合があります。 ↓ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となります。
50	修正	8	取扱上のお願	9	取扱上のお願	本装置に貼付してある銘版シール(製造年月、製造番号などの印字シール)をはがさないでください。 ↓ 本装置に貼付してある銘版シール(製造番号などの印字シール)をはがさないでください。
51	修正	9	本装置内蔵端末使用時に注意すべきことについて	10	本装置内蔵端末使用時に注意すべきことについて	電子機器が誤動作するなど影響を与える可能性があります。 ↓ 電子機器が誤動作するなど悪影響を及ぼす原因となります。
52	削除	11	Windowsの表記について			Windowsの表記について
53	修正	14	1.はじめに	15	1.はじめに	本機能の詳細については、担当営業にお問い合わせください。 ↓ 本機能の詳細については、担当営業(販売元)にお問い合わせください。
54	修正	14	1.はじめに	15	1.はじめに	販売後の本装置の機能性向上を目的に、ドコモが遠隔からソフトウェア更新を行います。(NW予約型ソフトウェア更新) また、ATコマンドによるソフトウェア更新もご利用いただけます。(ATコマンド型ソフトウェア更新) 本機能の詳細については、担当営業にお問い合わせください。 ↓ 販売後の本装置の機能性向上を目的に、ドコモが遠隔からソフトウェア更新を行います。(NW予約型ソフトウェア更新) また、ATコマンドによるソフトウェア更新もご利用いただけます。(ATコマンド型ソフトウェア更新) 本機能の詳細については、担当営業(販売元)にお問い合わせください。
55	修正	15	1.はじめに	16	1.はじめに	FOMA サービス回線を通じてネットワーク側でGPS測位をアシストする機能です。 本製品とGPSユニットを組み込んだ位置情報取得機器では、より精度の高い位置測定が可能になります。 ↓ 本装置とGPSユニットを組み込んだ位置情報取得機器では、FOMAネットワークの圏内であれば、FOMAネットワークからGPSアシストデータを加えることで測位時間が短縮される(ネットワークアシスト測位方式)ほか、GPS衛星による測位ができない場所であっても大まかな位置測定が可能となります。
56	修正	16	1.はじめに	17	1.はじめに	RFインタフェースコネクタ → RFインタフェースコネクタ
57	削除	16	1.はじめに			製造年月
58	削除	17	1.はじめに			製造年月
59	修正	18	1.はじめに	19	1.はじめに	本装置では、データ通信専用のパケット通信サービスのみ利用でき、上り最大64kbps/下り最大384kbpsの高速パケット通信が可能です。 ↓ 本装置では、データ通信専用のパケット通信サービスのみ利用でき、上り最大64kbps/下り最大384kbpsのパケット通信が可能です。
60	修正	18	1.はじめに	19	1.はじめに	・ビジネスmopera http://www.docomo.biz/b-mopera/ ↓ ・ビジネスmopera http://www.docomo.biz/html/service/b-mopera/
61	修正	19	1.6.2.接続先(APN)について	20	1.6.2.接続先(APN)について	ターミナルソフトなどにより、AT+CGDCONTでAPNを設定してください。
62	修正	19	1.6.2.接続先(APN)について	20	1.6.2.接続先(APN)について	「Context Identifier」の略で、接続先(APN)を登録するときに指定する番号のことです。本装置にAPNを登録するときに設定します。cidの登録方法についてはAT+CGDCONT(→P.62)および以下を参照してください。 ↓ 「Context Identifier」の略で、接続先(APN)を登録するときに指定する番号のことです。本装置にAPNを登録するときに設定します。cidの登録方法についてはAT+CGDCONT(→P.64)を参照してください。
63	削除	19	1.6.2.接続先(APN)について			【例】WindowsXPでハイパーターミナルを使用して、cid<1>へ「mopera.net」を登録する場合
64	削除	19	1.6.2.接続先(APN)について			①「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順にクリックします。
65	削除	19	1.6.2.接続先(APN)について			②「名前」に任意の接続名を入力し、「OK」をクリックします。
66	削除	19	1.6.2.接続先(APN)について			Ⓜ 削除
67	削除	20	1.6.2.接続先(APN)について			③「接続方法」に本装置で使用するCOMポートを選択し、「OK」をクリックします。

68	削除	20	1.6.2. 接続先 (APN) について			図 削除
69	削除	20	1.6.2. 接続先 (APN) について			④「ビット/秒」に適切な値を選択し、「データビット」=8、「パリティ」=なし、「ストップビット」=1、「フロー制御」=「ハードウェア」を選択し、「OK」をクリックします（ここでは例として「ビット/秒」=19200bpsとしています）。
70	削除	20	1.6.2. 接続先 (APN) について			図 削除
71	削除	21	1.6.2. 接続先 (APN) について			⑤AT+CGDCONT (→P.64) の書式どおりに、使用するcidへAPNを登録します。
72	削除	21	1.6.2. 接続先 (APN) について			・登録AT+CGDCONT= (cid), "PPP", " (APN) " ・現在の設定値確認: AT+CGDCONT? ・書式の確認: AT+CGDCONT=?
73	削除	21	1.6.2. 接続先 (APN) について			図 削除
74	修正	24	2. 装置仕様	23	2. 装置仕様	温度: -20~60℃【注】 → 温度: -20~60℃【注】
75	修正	24	2. 装置仕様	23	2. 装置仕様	温度: -30~85℃ → 温度: -30~85℃
76	修正	25	2. 装置仕様	24	2. 装置仕様	本装置では、音声通話、テレビ電話、iモード、FOMA64K データ通信、SMS を利用できません。 ↓ 本装置では、音声通話、テレビ電話、iモード、spモード、SMSを利用できません。
77	修正	26	2. 装置仕様	25	2. 装置仕様	LCS I/F については、お客様ご自身で利用することはできません。N.C. (未接続) としてください。LCS I/F のご利用については担当営業までお問い合わせください。 ↓ LCS I/F については、お客様ご自身で利用することはできません。N.C. (未接続) としてください。LCS I/F のご利用については担当営業 (販売元) までお問い合わせください。
78	修正	28	2. 装置仕様	27	2. 装置仕様	LCS I/F については、お客様ご自身で利用することはできません。N.C. (未接続) としてください。LCS I/F のご利用については担当営業までお問い合わせください。 ↓ LCS I/F については、お客様ご自身で利用することはできません。N.C. (未接続) としてください。LCS I/F のご利用については担当営業 (販売元) までお問い合わせください。
79	修正	31	2. 装置仕様	30	2. 装置仕様	本装置のリセットは、通常PWRKEY 番号またはAT コマンド「*DHWRSST」で行ってください。FOMA カードにアクセス中にシステムリセット (SYSRST) を使用するとFOMA カードが破損する場合があります。 ↓ 本装置のリセットは、通常PWRKEY番号またはATコマンド「AT*DHWRSST」で行ってください。ドコモUIMカードにアクセス中にシステムリセット (SYSRST) を使用するとドコモUIMカードが破損する場合があります。
80	修正	31	2. 装置仕様	30	2. 装置仕様	本信号端子は、外部装置よりPWRKEY 番号またはAT コマンド「*DHWRSST」でリセットできなかった場合以外では通常使用しない端子です。使用しない場合は、本端子をOPEN (未接続) にしてください。 ↓ 本信号端子は、外部装置よりPWRKEY番号またはATコマンド「AT*DHWRSST」でリセットできなかった場合以外では通常使用しない端子です。使用しない場合は、本端子をOPEN (未接続) にしてください。
81	修正	35	2. 装置仕様	34	2. 装置仕様	京セラエルコ株式会社 → 京セラコネクタプロダクツ株式会社
82	追記			35	2. 装置仕様	FOMAカード (青色・緑色・白色) をご利用のお客様は、本書に記載している「ドコモUIMカード」を「FOMAカード」に読み替えてください。
83	修正	36	2. 装置仕様	35	2. 装置仕様	PIN ロック解除コードは、PIN1 コードがロックされた状態を解除するための番号です。ご契約時にお客様にお知らせいたします。PIN ロック解除コード (8桁) を入力することにより、ロック状態を解除できます。PIN ロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると完全にロックされますので、ご注意ください。なお、PIN ロック解除コードを忘れた場合や、PIN ロックを解除できなくなった場合は、担当営業にお問い合わせください。 ↓ PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための番号です。ご契約時にお客様にお知らせいたします。PINロック解除コード (8桁) を入力することにより、ロック状態を解除できます。PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると完全にロックされますので、ご注意ください。なお、PINロック解除コードを忘れた場合や、PINロックを解除できなくなった場合は、担当営業 (販売元) にお問い合わせください。
84	修正	39	2. 装置仕様	38	2. 装置仕様	下記に記載する外部アンテナ以外のものを接続した場合、電波法の規定に抵触する可能性があります。詳しくは担当営業へお問い合わせください。 ↓ 下記に記載する外部アンテナ以外のものを接続した場合、電波法の規定に抵触する可能性があります。詳しくは担当営業 (販売元) へお問い合わせください。
85	修正	39	2. 装置仕様	38	2. 装置仕様	FOMA アダプタ用ルーフトップアンテナ → FOMA アダプタ用ルーフトップアンテナ02
86	修正	42	3. 本装置装着時の注意点	41	3. 本装置装着時の注意点	〈参考〉特性規格値 (ARIB STD-T63 TS25.101 のRelease6: 2GHz 帯, Release6: 800MHz 帯より) ↓ 〈参考〉特性規格値 (ARIB STD-T63 TS25.101 のRelease6: 2GHz 帯, Release6: 800MHz 帯より)
87	修正	43	3. 本装置装着時の注意点	42	3. 本装置装着時の注意点	0.5A (最大送信出力時) → 500mA (最大送信出力時)
88	修正	44	3. 本装置装着時の注意点	43	3. 本装置装着時の注意点	※ただし、外部装置側のアースと短絡しないこと → ※: ただし、外部装置側のアースと短絡しないこと
89	削除	46	3. 本装置装着時の注意点			引き抜き治具: U_FL-LP-N-2-ヒロセ電機 E_FL-LP-N-ヒロセ電機
90	追記			45	3. 本装置装着時の注意点	●引き抜き治具

111	修正	133	6. ソフトウェア更新機能	133	6. ソフトウェア更新機能	販売後の本装置の機能性向上を目的にFOMA ネットワークを利用してソフトウェアを更新する機能です。 ↓ 販売後の本装置の機能性向上を目的にFOMA ネットワークを利用してソフトウェアを更新する機能です。
112	修正	133	6. ソフトウェア更新機能	133	6. ソフトウェア更新機能	ネットワークからのソフトウェア更新（以降NW 予約型ソフトウェア更新） ↓ ネットワークからのソフトウェア更新（以降NW 予約型ソフトウェア更新）
113	修正	133	6. ソフトウェア更新機能	133	6. ソフトウェア更新機能	NW 予約型ソフトウェア更新は、ドコモに更新日時をご予約いただき、ソフトウェア更新の開始指示がFOMA ネットワーク経由でユビキタスマジュールに到達することにより開始されます。 NW 予約型ソフトウェア更新は、ドコモに更新日時をご予約いただき、ソフトウェア更新の開始指示がFOMA ネットワーク経由でユビキタスマジュールに到達することにより開始されます。
114	修正	133	6. ソフトウェア更新機能	133	6. ソフトウェア更新機能	AT コマンドによるソフトウェア更新（以降AT コマンド型ソフトウェア更新） ↓ AT コマンドによるソフトウェア更新（以降AT コマンド型ソフトウェア更新）
115	修正	133	6. ソフトウェア更新機能	133	6. ソフトウェア更新機能	AT コマンド型ソフトウェア更新は、外部装置からAT コマンド「AT*DSWU=0」（→P.69）を実行することにより行います。 ↓ AT コマンド型ソフトウェア更新は、外部装置からAT コマンド「AT*DSWU=0」（→P.71）を実行することにより行います。
116	修正	133	6. ソフトウェア更新機能	133	6. ソフトウェア更新機能	[NW 予約型ソフトウェア更新時の状態遷移図] ↓ [NW 予約型ソフトウェア更新時の状態遷移図]
117	修正	135	6. ソフトウェア更新機能	135	6. ソフトウェア更新機能	ソフトウェア更新後に、万が一、本装置が利用できなくなった場合には、たいへんお手数ですが、担当営業にご連絡をお願い致します。 ↓ ソフトウェア更新後に、万が一、本装置が利用できなくなった場合には、たいへんお手数ですが、担当営業（販売元）にご連絡をお願い致します。
118	追記			135	6. ソフトウェア更新機能	⑯ 自動活性化開通方式をご利用の場合、NW 予約型ソフトウェア更新では、活性化（開通）されません。また非活性化状態ではソフトウェア更新を行うこともできません。 AT コマンド型ソフトウェア更新の場合、ソフトウェア更新はできませんが、活性化（開通）されます。 ※自動活性化開通方式については、担当営業（販売元）にお問い合わせください。
119	修正	136	6. ソフトウェア更新機能	136	6. ソフトウェア更新機能	信号線状態については、「5.1. DTE インタフェース（ハードウェアフロー制御）（14）ネットワークからのソフトウェア更新時」（→P.96）、（15）AT コマンドによるソフトウェア更新時（→P.97）、（16）ソフトウェア更新の中断時（→P.98）、「5.2. DTE インタフェース（ソフトウェアフロー制御）（14）ネットワークからのソフトウェア更新時」（→P.114）、（15）AT コマンドによるソフトウェア更新時（→P.115）、（16）ソフトウェア更新の中断時（→P.116）」を参照してください。 ↓ 信号線状態については、「5.1. DTE インタフェース（ハードウェアフロー制御）（14）ネットワークからのソフトウェア更新時」（→P.96）、（15）AT コマンドによるソフトウェア更新時（→P.97）、（16）ソフトウェア更新の中断時（→P.98）、「5.2. DTE インタフェース（ソフトウェアフロー制御）（14）ネットワークからのソフトウェア更新時」（→P.114）、（15）AT コマンドによるソフトウェア更新時（→P.115）、（16）ソフトウェア更新の中断時（→P.116）」を参照してください。
120	修正	137	付属資料 A	137	付属資料 A	この方法を用いて発信する場合、必ず以下の点に注意してください。ご不明な点については担当営業までお問い合わせください。 ↓ この方法を用いて発信する場合、必ず以下の点に注意してください。ご不明な点については担当営業（販売元）までお問い合わせください。
121	修正	146	索引	146	索引	端末機器技術基準適合認定 → 端末機器の技術基準適合認定等
122	修正	147	保証とアフターサービス	147	保証とアフターサービス	記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管願います。 ↓ 記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
123	修正	147	保証とアフターサービス	147	保証とアフターサービス	必要事項が記載されていない場合は、担当営業へお申し付けください。 ↓ 必要事項が記載されていない場合は、担当営業（販売元）にお問い合わせください。
124	修正	147	保証とアフターサービス	147	保証とアフターサービス	保証期間は、お買い上げ日より1年間です。 ↓ 無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
125	修正	147	保証とアフターサービス	147	保証とアフターサービス	次の場合は、修理できないことがあります。 ↓ 以下の場合は、修理できないことがあります。
126	修正	147	保証とアフターサービス	147	保証とアフターサービス	水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が見られた場合、および内部の基盤が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 ↓ 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が見られた場合や内部の基盤が破損・変形している場合。
127	修正	147	保証とアフターサービス	147	保証とアフターサービス	なお、修理が実施できる場合でも保証対象外ですので、有料修理となります。 ↓ ※修理が実施できる場合でも保証対象外になりますので、有料修理となります。
128	修正	147	保証とアフターサービス	147	保証とアフターサービス	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。 ↓ ご要望により有料修理いたします。
129	修正	147	保証とアフターサービス	147	保証とアフターサービス	本装置の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。 ↓ 本装置の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。
130	修正	147	保証とアフターサービス	147	保証とアフターサービス	ただし、修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。 ↓ ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
131	修正	147	保証とアフターサービス	147	保証とアフターサービス	故障などのお問い合わせは、担当営業もしくはご購入時の契約に準じてご連絡ください。 ↓ 故障などのお問い合わせは、担当営業（販売元）もしくはご購入時の契約に準じてご連絡ください。

132	修正	147	保証とアフターサービス	147	保証とアフターサービス	 
133	修正	147	保証とアフターサービス	148	保証とアフターサービス (つづき)	<p>本装置の補修用性能部品 (機能を維持するために必要な部品) の最低保期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。</p> <p>↓</p> <p>本装置の補修用性能部品 (機能を維持するために必要な部品) の最低保期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。</p>
134	修正	148	保証とアフターサービス (つづき)	148	保証とアフターサービス (つづき)	<p>改造 (部品の交換・改造・塗装など) が施された場合は、改造部分を元の状態 (ドコモ純正状態) に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。</p> <p>↓</p> <p>改造 (部品の交換・改造・塗装など) が施された場合は、改造部分を元の状態 (ドコモ純正状態) に戻すことをご承知いただいた上でお受けいたします。</p>
135	修正	149	マナーもいっしょに携帯しましょう	149	マナーもいっしょに携帯しましょう	<p>こんな場合は本装置を使用しないでください → こんな場合は必ず電源を切りましょう</p>
136	削除	149	マナーもいっしょに携帯しましょう			<p>本装置を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、本装置を使用しないでください。</p>
137	削除	149	マナーもいっしょに携帯しましょう			<p>・航空機内 ・病院内</p>
138	削除	149	マナーもいっしょに携帯しましょう			<p>※：医用電気機器を使用している方がいるのは病棟だけではなく、ロビーや待合室などでも、使用しないでください。</p>
139	追記			149	マナーもいっしょに携帯しましょう	<p>航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。</p>
140	追記			149	マナーもいっしょに携帯しましょう	<p>使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。</p>
141	削除	149	マナーもいっしょに携帯しましょう			<p>満員電車の中や優先席付近など、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。</p>
142	修正	149	輸出管理規制について	149	輸出管理規制について	<p>本製品及び付属品は、日本輸出管理規制 (「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令) の適用を受ける場合があります。</p> <p>↓</p> <p>本製品及び付属品は、日本輸出管理規制 (「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令) の適用を受けます。</p>
143	修正	H4		H4		 

FOMA UM02-F専用アダプタセット 取扱説明書 4版 ⇒ 5版 改版履歴

No.	種別	4版		5版		変更内容																
		ページ	項番	ページ	項番																	
1	修正	35	■電源について (3) (1) (2) 以外の外部電源装置を使用する場合 表内	35	■電源について (3) (1) (2) 以外の外部電源装置を使用する場合 表内	<table border="1"> <tr> <td>コネクタ</td> <td>3芯仕様:電源コード側のコネクタハウジング 51030-0330(日本モレックス社) 電源コード側のコネクタピン 50083(日本モレックス社)</td> </tr> <tr> <td>電源コード</td> <td>電流容量 1.0A 以上のもの</td> </tr> </table> <p>※: 使用コネクタ: 53108-0330 (日本モレックス)</p> <p>↓</p> <table border="1"> <tr> <td>コネクタ</td> <td>3芯仕様:電源コード側のコネクタハウジング 51030-0330/70066-0177 (日本モレックス(株)) 電源コード側のコネクタピン 50083/70058-0024 (日本モレックス(株))</td> </tr> <tr> <td>電源コード</td> <td>電流容量 1.0A 以上のもの</td> </tr> </table> <p>※: 使用コネクタ: 53108-0330 (日本モレックス(株))</p>	コネクタ	3芯仕様:電源コード側のコネクタハウジング 51030-0330(日本モレックス社) 電源コード側のコネクタピン 50083(日本モレックス社)	電源コード	電流容量 1.0A 以上のもの	コネクタ	3芯仕様:電源コード側のコネクタハウジング 51030-0330/70066-0177 (日本モレックス(株)) 電源コード側のコネクタピン 50083/70058-0024 (日本モレックス(株))	電源コード	電流容量 1.0A 以上のもの								
コネクタ	3芯仕様:電源コード側のコネクタハウジング 51030-0330(日本モレックス社) 電源コード側のコネクタピン 50083(日本モレックス社)																					
電源コード	電流容量 1.0A 以上のもの																					
コネクタ	3芯仕様:電源コード側のコネクタハウジング 51030-0330/70066-0177 (日本モレックス(株)) 電源コード側のコネクタピン 50083/70058-0024 (日本モレックス(株))																					
電源コード	電流容量 1.0A 以上のもの																					
2	修正	38	3.9.バケット 圏内外/電界強度出力コネクタ (5芯コネクタ) 表内	38	3.9.バケット 圏内外/電界強度出力コネクタ (5芯コネクタ) 表内	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">仕 様</th> </tr> <tr> <td>5芯仕様: 本装置側のコネクタ</td> <td>53103-0530(日本モレックス(株))</td> </tr> <tr> <td>コード側のコネクタハウジング</td> <td>51030-0530(日本モレックス(株))</td> </tr> <tr> <td>コード側のコネクタピン</td> <td>50083(日本モレックス(株))</td> </tr> </table> <p>↓</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">仕 様</th> </tr> <tr> <td>5芯仕様: 本装置側のコネクタ</td> <td>53103-0530 (日本モレックス(株))</td> </tr> <tr> <td>コード側のコネクタハウジング</td> <td>51030-0530/70066-0179 (日本モレックス(株))</td> </tr> <tr> <td>コード側のコネクタピン</td> <td>50083/70058-0024/70058-0206 (日本モレックス(株))</td> </tr> </table>	仕 様		5芯仕様: 本装置側のコネクタ	53103-0530(日本モレックス(株))	コード側のコネクタハウジング	51030-0530(日本モレックス(株))	コード側のコネクタピン	50083(日本モレックス(株))	仕 様		5芯仕様: 本装置側のコネクタ	53103-0530 (日本モレックス(株))	コード側のコネクタハウジング	51030-0530/70066-0179 (日本モレックス(株))	コード側のコネクタピン	50083/70058-0024/70058-0206 (日本モレックス(株))
仕 様																						
5芯仕様: 本装置側のコネクタ	53103-0530(日本モレックス(株))																					
コード側のコネクタハウジング	51030-0530(日本モレックス(株))																					
コード側のコネクタピン	50083(日本モレックス(株))																					
仕 様																						
5芯仕様: 本装置側のコネクタ	53103-0530 (日本モレックス(株))																					
コード側のコネクタハウジング	51030-0530/70066-0179 (日本モレックス(株))																					
コード側のコネクタピン	50083/70058-0024/70058-0206 (日本モレックス(株))																					
3	修正	巻末		巻末		10.6 (4版) → *11.7 (5版)																

FOMA UM01-KO 取扱説明書1.5版⇒2版 改版履歴

No.	種別	1.5版		2版		変更内容
		ページ	項番	ページ	項番	
1	修正	表紙		表紙		ロゴを変更
2	修正	冒頭	本装置のご使用にあたって	冒頭	本装置のご使用にあたって	なお、取扱説明書の最新版は、ユビキタスマジュールWebサイト (http://www.docomo.biz/module/)にてご確認ください。 ↓ なお、取扱説明書の最新版は、ユビキタスマジュールWebサイト UMテクニカルサポートにて ご確認ください。 http://www.docomo.biz/module/support/
3	修正	4	本装置の取扱いについて	4	本装置の取扱いについて	指示：“本装置に使用するFOMAカードはドコモグループ各社が指定したものを使用してください。”→“本装置に使用するFOMAカードはNTTドコモが指定したものを使用してください。”
4	追記	21	2.1.	21	2.1.	消費電流の備考欄に“測定条件：500ms平均”を追記 改ページを防ぐため、表下の注釈の行間を狭くした
5	修正	24	2.3.	24	2.3.	端子番号5を種別「FOMAカードI/F」→「保守I/F」に変更 端子番号16を種別「FOMAカードI/F」→「N.C.」に変更 端子番号8,46,54,56を種別「N.C.」→「保守I/F」に変更、信号機能を「未使用」→「 メーカー保守用 」に変更 種別のフォント位置が左寄せと中央揃えが混在していたので中央揃えに統一
6	追記 修正	25	2.3.1.	25	2.3.1.	UM02-KO取説の「2.3.1.電気的特性」(P.25)の表と同じ表に変更 ・【注1】【注2】を追記 ・6項 信号VOL SIM_DIO (C7)のIOL値：Typ値削除、Max値“1”→“ 1.0 ”に変更
7	修正	27	2.3.4.	27	2.3.4.	表：“(50μs以上)”→“(150μs以上)”に変更
8	削除	30	2.3.9.	30	2.3.9.	図：C2のプルアップ抵抗削除
9	追記 修正	34	3.1.(2)	34	3.1.(2)	受信周波数の表中の値をUM02-KO取説記載値に変更 送信周波数の表を追加(表中の値はUM02-KO取説記載値)
10	削除	34	3.1.(3)	34	3.1.(3)	送信周波数の表を削除 (UM02-KO取説記載方法に合わせる)
11	修正	43	3.3.1.(6)	43	3.3.1.(6)	“株式会社日立国際電気サービス 営業部 通信システム課”→“株式会社日立国際電気 サービス サービス本部 通信サービス営業部”に変更
12	修正	127	付属資料C	127	付属資料C	表 端子番号54：本装置欄 “N.C.(未使用)”→“ N.C.(メーカー保守用) ”に変更 表 端子番号46：本装置欄 “N.C.(未使用)”→“ N.C.(メーカー保守用) ”に変更
13	修正	134	保証とアフターサービス	134	保証とアフターサービス	■アフターサービスについて：“○お問い合わせ先(ドコモグループ各社)”→“ 総合お問い合わせ先 <ドコモ インフォメーションセンター> ”に変更
14	修正	巻末		巻末		販売元・製造元の表を削除し、 販売元 株式会社NTTドコモ 製造元 株式会社日立国際電気 を追記
15	修正	巻末		巻末		“08.05(第1.5版)”→“ 09.09(第2版) ”に変更

FOMA UM01-K0専用アダプタセット 取扱説明書1.5版⇒2版 改版履歴

No.	種別	1.5版		2版		変更内容
		ページ	項番	ページ	項番	
1	修正	表紙		表紙		ロゴ変更
2	修正	冒頭	本装置のご使用にあたって	冒頭	本装置のご使用にあたって	<p>なお、取扱説明書の最新版は、ユビキタスモジュールWebサイト (http://www.docomo.biz/module/)にてご確認ください。</p> <p>↓</p> <p>なお、取扱説明書の最新版は、ユビキタスモジュールWebサイト UMテクニカルサポートにてご確認ください。 http://www.docomo.biz/module/support/</p>
3	修正	4	本装置の取扱いについて	4	本装置の取扱いについて	指示：“本装置に使用するFOMAカードはドコモグループ各社が指定したものを使用してください。”→“本装置に使用するFOMAカードはNTTドコモが指定したものを使用してください。”
4	修正	27	3.1.	27	3.1.	表：質量 内容 “185g以下”→“約160g”に変更
5	修正	39	5.1.	39	5.1.	<p>FOMAユビキタスモジュール（FOMA UM01-K0）取扱説明書はWebサイト (http://www.docomo.biz/module/)よりダウンロードできます。</p> <p>↓</p> <p>FOMAユビキタスモジュール（FOMA UM01-K0）取扱説明書はWebサイトよりダウンロードできます。 http://www.docomo.biz/module/support/</p>
6	修正	47	保証とアフターサービス	47	保証とアフターサービス	■アフターサービスについて：“お問い合わせ先（ドコモグループ各社）”→“総合お問い合わせ先 <ドコモ インフォメーションセンター>”に変更
7	修正	巻末		巻末		販売元・製造元の表を削除し、 販売元 株式会社NTTドコモ 製造元 株式会社日立国際電気 を追記
8	修正	巻末		巻末		“08.05（第1.5版）”→“09.09（第2版）”に変更


FOMA UM01-F 取扱説明書 3版 ⇒ 4版 改版履歴

No.	種別	3版		4版		変更内容
		ページ	項番	ページ	項番	
1	削除	7	本装置内蔵端末使用時に注意すべきことについて	7	本装置内蔵端末使用時に注意すべきことについて	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車内での車載電子機器の近くでは、本装置の電源を切れる構造とすることをお奨めします。自動車内で使用した場合、車種によってはまれに車載電子機器に影響を与える可能性がありますので、十分な対電磁波保護がされているかどうか自動車販売店にご確認のうえ、ご使用になることをお奨めします。
2	修正	巻末		巻末		'09.10 (3版) ⇒ '10.6 (4版)


FOMA UM01-F専用アダプタセット 取扱説明書 3版 ⇒ 4版 改版履歴

No.	種別	3版		4版		変更内容																														
		ページ	項番	ページ	項番																															
1	削除	7	本装置使用時に注意すべきこと について	7	本装置使用時に注意すべきこと について	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車内での車載電子機器の近くでは、本装置の電源を切れる構造とすることをお奨めします。自動車内で使用した場合、車種によってはまれに車載電子機器に影響を与える可能性がありますので、十分な対電磁波保護がされているかどうか自動車販売店にご確認のうえ、ご使用になることをお奨めします。 																														
2	修正	28	3.2	28	3.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>Min</th> <th>Typ</th> <th>Max</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 電源電圧</td> <td>4.75</td> <td>5.00</td> <td>5.25</td> <td>V</td> </tr> <tr> <td>2 電源電圧絶対最大定格</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>20.0</td> <td>V</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>Min</th> <th>Typ</th> <th>Max</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 電源電圧</td> <td>4.75</td> <td>5.00</td> <td>5.25</td> <td>V</td> </tr> <tr> <td>2 電源電圧絶対最大定格</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>6.5</td> <td>V</td> </tr> </tbody> </table>	項目	Min	Typ	Max	単位	1 電源電圧	4.75	5.00	5.25	V	2 電源電圧絶対最大定格	0	—	20.0	V	項目	Min	Typ	Max	単位	1 電源電圧	4.75	5.00	5.25	V	2 電源電圧絶対最大定格	0	—	6.5	V
項目	Min	Typ	Max	単位																																
1 電源電圧	4.75	5.00	5.25	V																																
2 電源電圧絶対最大定格	0	—	20.0	V																																
項目	Min	Typ	Max	単位																																
1 電源電圧	4.75	5.00	5.25	V																																
2 電源電圧絶対最大定格	0	—	6.5	V																																
3	修正	巻末		巻末		'09.10 (3版) ⇒ '10.6 (4版)																														


FOMAアダプタ用アンテナ（ルーフトップアンテナ 02）取扱説明書1版⇒2版 改版履歴

No.	種別	1版		2版		変更内容
		ページ	項番	ページ	項番	
1	修正	1	冒頭	1	冒頭	1081-1F → 1081-2D
2	修正	1	冒頭	1	冒頭	●「FOMA」は、NTTドコモの登録商標です。 ↓ ●「FOMA」は、 （株） NTTドコモの登録商標です。
3	修正	1	警告	1	警告	航空機内や病院など、使用を禁止された区域では使用しないでください。 電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。 医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。 航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。 ↓ 航空機へのご搭乗にあたり、接続機器の電源を切るか、機内モードに設定してください。 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。 自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。 航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。 なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
4	追記			1	警告	病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。 使用を禁止されている場所では、接続機器の電源を切ってください。 電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。 自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
5	修正	1	警告	1	警告	医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。 ↓ 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
6	修正	1	警告	1	警告	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。 ↓ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
7	修正	1	注意	1	注意	一般のゴミと一緒に捨てないでください。 発火、環境破壊の原因となります。不要となった製品は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。 ↓ 一般のゴミと一緒に捨てないでください。 発火、環境破壊の原因となります。不要となった製品は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。
8	修正	1	注意	1	注意	本製品を水没するような環境へ設置しないでください。 本製品は、JISによるIPコード「IPX6」に適合しております。 IPX6は、「強力なジェット噴流水によっても有害な影響を受けない」もので、水中における使用を想定しておりません。 ↓ 本製品を水没するような環境へ設置しないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
9	修正	1	注意	1	注意	乳幼児の手の届かない場所に保管してください。 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。 ↓ 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。 誤って飲み込んだり、けが、感電の原因となります。
10	修正	1	材質一覧	1	材質一覧	カバー → 素子部
11	修正	1	材質一覧	1	材質一覧	ネジ → ねじ
12	修正	2	構成部品	2	構成部品	台座の表記を追記
13	追記			2	主な仕様	※IPX6は、「強力なジェット噴流水によっても有害な影響を受けない」もので、水中における使用を想定しておりません。
14	修正	2	巻末	2	巻末	1081-1F WCA（第1版）  1081-2D XKD（第2版）

FOMAアダプタ用アンテナ（簡易アンテナ）取扱説明書3版⇒4版 改版履歴

No.	種別	3版		4版		変更内容
		ページ	項番	ページ	項番	
1	修正	1	冒頭	1	冒頭	0482-6B → 0482-7D
2	修正	1	冒頭	1	冒頭	<p>本製品を接続可能な端末については、各ユビキタスマジュールの取扱説明書をご覧ください。なお、以下の説明において、接続可能な端末を「FOMAアダプタ」と記載します。</p> <p>ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書を良くお読みいただき、本製品を正しく、効果的にお使いください。また本書は、お読みになった後も、大切に保管してください。</p> <p>なお、取扱説明書の最新版は、ユビキタスマジュールWeb サイト UM テクニカルサポート (http://www.docomo.biz/module/support/) にてご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「FOMA」は、N T Tドコモの登録商標です。 ・フリーダイヤルサービス名称およびフリーダイヤルロゴマークはN T Tコミュニケーションズ株式会社の商標です。 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品を正しくお使いください。また本書は、お読みになった後も、大切に保管してください。なお、取扱説明書の最新版は、ドコモの法人向けサイト「ドコモビジネスオンライン」(http://www.docomo.biz/html/service/module/) にてご確認ください。 ●本製品を接続可能な端末については、各ユビキタスマジュールの取扱説明書をご覧ください。なお、以下の説明において、接続可能な端末を「FOMA アダプタ」と記載します。 ●仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがありますのでご了承願います。 ●「FOMA」は、(株)N T Tドコモの登録商標です。
3	修正	1	安全上のご注意 (必ずお守りください)	1	安全上のご注意 (必ずお守りください)	<p>この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。</p> <p>本文中に表示されている記号の意味は次の通りです。内容をよく理解して本書をお読みください。</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。 ・ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。 ・次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。
4	修正	1	安全上のご注意 (必ずお守りください)	1	安全上のご注意 (必ずお守りください)	区分「危険」「分解禁止」「水濡れ禁止」「濡れ手禁止」を追記し、記載内容を一部修正
5	追記			1	材質一覧	「材質一覧」を追記
6	追記			1	取り扱い上のご注意	「取り扱い上のご注意」を追記
7	修正	2	構成品	2	構成品	台座の表記を追記
8	修正	2	主な仕様	2	主な仕様	<p>※ 但し、1.94~1.96GHzは1.8 以下</p> <p>↓</p> <p>ただし、1.94~1.96GHzは1.8 以下</p>
9	修正	2	お問い合わせ先	2	お問い合わせ先	故障お問い合わせ先を追記
10	修正	2	巻末	2	巻末	<p>0482-6B ・09.06 (第3版)  0482-7D XKD (第4版)</p>

FOMAアダプタ用アンテナ（小型防滴アンテナ）取扱説明書3版⇒4版 改版履歴

No.	種別	3版		4版		変更内容
		ページ	項番	ページ	項番	
1	修正	1	冒頭	1	冒頭	0480-6B → 0480-7E
2	修正	1	冒頭	1	冒頭	<p>本製品を接続可能な端末については、各ユビキタスマジュールの取扱説明書をご覧ください。なお、以下の説明において、接続可能な端末を「FOMAアダプタ」と記載します。ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書を良くお読みいただき、本製品を正しく、効果的にお使いください。また本書は、お読みになった後も、大切に保管してください。</p> <p>なお、取扱説明書の最新版は、ユビキタスマジュールWeb サイト UM テクニカルサポート (http://www.docomo.biz/module/support/) にてご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「FOMA」は、NTTドコモの登録商標です。 ・フリーダイヤルサービス名称およびフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品を正しくお使いください。また本書は、お読みになった後も、大切に保管してください。なお、取扱説明書の最新版は、ドコモの法人向けサイト「ドコモビジネスオンライン」(http://www.docomo.biz/html/service/module/) にてご確認ください。 ●本製品を接続可能な端末については、各ユビキタスマジュールの取扱説明書をご覧ください。なお、以下の説明において、接続可能な端末を「FOMA アダプタ」と記載します。 ●仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがありますのでご了承願います。 ●「FOMA」は、商NTTドコモの登録商標です。
3	修正	1	安全上のご注意 (必ずお守りください)	1	安全上のご注意 (必ずお守りください)	<p>この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。</p> <p>本文中に表示されている記号の意味は次の通りです。内容をよく理解して本書をお読みください。</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後大切に保管してください。 ・ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。 ・次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。
4	修正	1	安全上のご注意 (必ずお守りください)	1	安全上のご注意 (必ずお守りください)	区分「危険」「分解禁止」「水濡れ禁止」「濡れ手禁止」を追記し、記載内容を一部修正
5	追記			1	材質一覧	「材質一覧」を追記
6	追記			1	取り扱い上のご注意	「取り扱い上のご注意」を追記
7	修正	2	主な仕様	2	主な仕様	<p>※ 但し、1.94~1.96GHzは1.8 以下</p> <p>↓</p> <p>ただし、1.94~1.96GHzは1.8 以下</p>
8	修正	2	取り付けかた	2	取り付けかた	<ul style="list-style-type: none"> ・取り付けの前に ・設置面とアンテナの取付面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。 ・気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り付けの前に ・設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を取り除いてください。 ・低温時は両面テープの接着力が発揮できないため、設置する際は、常温環境のもとで作業を行ってください。（目安として約20℃）
9	追記			2	取り付けかた	<p>本製品は、強力な両面テープを使用しております。一度接着すると、取り外す際に設置面の塗装などが剥がれる可能性がありますので、ご注意ください。また、取り外すと両面テープの接着力が低下しますので、再度取り付けにならないよう、ご注意ください。</p>
10	修正	2	お問い合わせ先	2	お問い合わせ先	故障お問い合わせ先を追記
11	修正	2	巻末	2	巻末	<p>0480-6B 09.06 (第3版)  0480-7E XKD (第4版)</p>

FOMA UM01-KO接続用治具 取扱説明書 1.2版⇒2版 改版履歴

No.	種別	1.2版		2版		変更内容
		ページ	項番	ページ	項番	
1	修正	表紙		表紙		タイトルへのマークを追加
2	修正	冒頭	本治具のご使用にあたって	冒頭	本治具のご使用にあたって	「FOMAユキタスマジュール (FOMA UM01-KO) 接続用治具取扱説明書」の最新版は以下をご参照ください。 http://www.docomo.biz/module/ ↓ 「FOMAユキタスマジュール (FOMA UM01-KO) 接続用治具取扱説明書」の最新版は以下をご参照ください。 http://www.docomo.biz/module/support/
3	修正	31	4.1.	31	4.1.	" http://www.docomo.biz/module/ " → " http://www.docomo.biz/module/support/ " に変更
4	修正	35	4.2.	35	4.2.	" 4.2. パケット接続を行う" のフォントサイズが14だったため12に変更 " http://www.docomo.biz/module/ " → " http://www.docomo.biz/module/support/ " に変更
5	修正	38	6.1.	38	6.1.	" 株式会社日立国際電気サービス 営業部 通信システム課" → "株式会社日立国際電気サービス サービス本部 通信サービス営業部" に変更 電話番号、" ●ダイヤル番号を～" を削除
6	修正	巻末		巻末		" '06.11 (第1.2版)" → "'09.09 (第2版)" に変更